

令和3年度 第2回 白子小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日時 令和3年6月3日(木) 19:00～20:00

2 参加者 12名

委員長 杉野 絵美,

副委員長 野村 奈央,

委員 和田 隆, 山中 晃, 喜田 園子, 松野 弘子, 内山 安司,

永田 みちよ, 茂理 幹人

教育支援課 学校支援 G 杉谷 直俊

校長 浅井 和代

教頭 松本 博

3 内容

(1) 児童の様子について

① 学校長より

- ・一人一台端末の活用により、指導者中心の活用だけでなく、ドリル学習等では児童一人一人のペースに応じた使い方等が工夫されてきた。今後は、学年に応じた情報活用能力の習得に向け、系統的な指導を進めていく必要がある。
- ・租税教室(6年生)では、社会の授業でも学んだ国民の義務(納税・勤労・教育)と関連付けながら理解を深めることができた。
- ・新体力テストの取組を通して、児童には運動の大切さに気付くとともに、積極的に体を動かす習慣をつけていってほしい。
- ・理科の生き物の学習において、日々継続した観察ができるように、教員によって教室や廊下に実物の展示などを行っている。写真等の分かりやすい画像が簡単に手に入る時代だが、本物ならではのよさがある。
- ・全国学力・学習状況調査が実施された。算数・国語の問題では、問われていることについて必要な情報を収集・整理し、与えられた条件に合うように、自分の考えを書く記述式の問題も出されている。答えを導き出すに至った理由や考え方をわかりやすく表現する力が問われている。子どもたちの解答は学校でも採点・分析し、今後の授業改善にいかしていく。国から調査結果が届くのは、8月末の予定。
- ・子どもたちのオンラインゲームでの遊び方の現状をみると、ネットモラルについて指導する必要性が感じられる。そのため、4・5年生は1学期にネットモラル講座をもつ。6年生は、2学期に出前授業を実施予定。

② 意見交換

○児童の情報活用能力の差について

情報教育担当者が中心となり、各学年で身に付けたい情報活用能力について教員間で共通理解を図っている。

○端末の家庭への持ち帰りについて

鈴鹿市としては、現在は、家庭への持ち帰りはしていない。各家庭における WiFi 環境を考え、検討中である。

(2) 留守番電話について

① 教頭より

- ・留守番電話導入の目的
- ・時間外労働時間の上限
- ・白子小学校の勤務時間縮減の取組
- ・留守番電話の運用について

② 意見交換

留守番電話の導入にむけて、学校運営協議会の承認を得た上で、今後 PTA 等とも協議を進めていく。

(3) 教育支援課 杉谷さんより

- ・留守番電話を導入することで、各学校においてこれまで混乱は生じていない。
- ・留守番電話の設置に関する保護者宛ての案内文書を出すとき、学校長・学校運営協議会委員長・PTA 会長の三者の連名で出すとよい。学校だけで決めているのではなく、地域や保護者との合意による導入に意義がある。

3 配付資料

(1) 令和 3 年度第 2 回白子小学校運営協議会事項書

(2) 留守番電話の実施にむけて

(3) 文部科学大臣メッセージ「保護者・地域の皆様へ～学校の働き方改革へのご理解・ご協力をお願いします～」

(4) 令和 3 年度白子小学校配当予算

(6) 学校通信 No.4～6

(7) 令和 3 年度第 3 回学校運営協議会開催について